

聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、地の果てにまで、わたしの証人となります。（使徒1:8）

宣教の主を見上げよう

国内教会局長 岩上祝仁



「イエスは彼らに言われた。『全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。』」（マルコ一六章14節）

今年も宣教聖日を守る月が来ました。宣教について考えてみたいと思います。教会の働きを考える時、私たちは何をイメージするでしょうか？ 礼拝、伝道、牧会、交わり、学び、神学教育、被災地援助、次世代育成など教会の働きは今の時代多岐にわたっています。これらは教会の働きが成熟を示すものです。イマヌエルの群れがこれらのことに携わることができていることは神の恵み以外の何物でもありません。働きが多岐にわたり、様々なことに取り組んでいるからこそ、教会本来の使命をはっきりと認識し続ける必要があります。

主イエスが最後に弟子たちに言われたことは、「全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を伝えなさい」という宣教命令でした。これはしてもしなくても良いというものではなく、教会が必ずしなければならぬことです。教会が主イエスから使命として直接受けていることです。ですから教会の最優先事項として私たちは宣教の働きをしなければなりません。

次に宣教の範囲です。主イエスは国内のみ、あるいは身近な人たち、あるいは自教会主義に固まりなさいとは決して言われませんでした。全世界に出て行くと、世界大の宣教の働きを最初から命じられたのです。

使徒たちはアフリカ、ヨーロッパ、インドからアジアへと世界大の宣教を文字通り遂行しました。また、私たちの群れも設立当初から世界宣教を目指し、実践してきました。これはイマヌエルの大きな霊的な遺産です。世界に目を向ける時に、私たちは神の働きの大きさを知り、同時に信仰によってのみそれが可能になってゆくことを体験します。信仰を働かせることの大切さを世界宣教に取り組む時に私たちは改めて教えられるのです。現代では国外に出て行かなくても、この日本で世界宣教（他民族への伝道）が可能になっている時代です。私たちの住んでいる場所で、福音を知らない日本人と外国の方々への神の救いを伝えることができるのです。主からの大きな宣教のチャレンジです。最後に、この宣教大命令を語られた主ご自身に目を止めましょう。主イエスは神のあり方を捨てて、私たちを救い、その救いを伝えるために人となってくださいました。それだけではなく、苦難の生涯を歩まれ、父の御心に従って十字架の死までも経験されました。主の弟子たちも多くの苦難と迫害を乗り越えて、福音を伝え続けて、二十一世紀の日本にいる私たちにも福音は届けられました。私たちもまた今直面している困難や戦いの中で主を見上げて世界宣教に取り組んで行きます。御霊に押し出されて宣教に出て行く時、聖霊の働きにより私たちは主の証人として生きることが出来ます。宣教の主は収穫の主でもあられます。主に期待して、主を見上げ、主に従って行きましょう。

目次

- 宣教の主を見上げよう……岩上祝仁……1
- 宣教聖日、災害対策委員会、静岡聖会……2
- IWF、教会学校課、出版事業部、スクーリング……3
- 海外トピックス、国内教会局、読書のひろば……4
- 姫路教会の近況、釧路教会の近況、燭台……5
- 広げた翼……6～8
- 聖宣神学院報……9～11
- 公報、消息……12

Immanuel

11月17日は宣教聖日

世界宣教のために祈る聖日
イムヌエルの信仰を掲げ
主のみこころを求めて

世界宣教局長 梅田登志枝

ださい。また礼拝献金の一部を「宣教聖日献金」として世界宣教局までお献げいただければ幸いです。
◆宣教ビデオ
今年も宣教ビデオ(DVD)をお届け致します。礼拝、祈禱会などでご活用くだされば感謝です。岩上頼子師を団長とするザンビア宣教訪問団の様子や現地の様子も含まれています。各宣教地からの報告、田辺宣恵師による宣教メッセージなどが収められています。

◆コイン献金

「神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます。……キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自分を与えてくださいました。これは、定められた時になされた証しです。」(1テモテ二・4〜6)
台風で被災された皆さまに心からのお見舞いを申し上げます。世界宣教局ではこの年も国内教会の変わらぬお祈りとご支援によって、宣教師を派遣し、宣教活動を継続することができました。

私たちの教団では11月を宣教月間とし、特に世界宣教を強調する月となっています。今年の宣教聖日は11月17日となります。宣教のために祈り、献げ、立ち上がる月となりました。幸いです。
◆宣教聖日と特別宣教献金
宣教聖日、あるいはその前後の聖日に、世界宣教にさらに関心を持つ方が起こされるために、世界宣教のために祈る礼拝をお持ちく

◆宣教訪問団

来年の夏は東京オリンピックが行われます。飛行機の予約など困難が予想されますので、2021年にケニアを候補地として、若者を中心とした宣教訪問団の派遣を検討しています。宣教訪問団に関しては、日程やプログラムが決まり次第、教報やホームページなどを通して公表いたします。

災害対策委員会から

台風19号による被害状況
各地に甚大な被害が
祈りの手を挙げよう

災害対策委員会 蔦田直毅

既報の通り、台風15号、17号に続き、大型の台風19号が日本に上陸し、東日本を縦断して各地に甚大な被害をもたらしました。15号によって千葉教区の諸教会と教会員の方々が長時間の停電を

経験され、教会員の方々は強風による飛来物などにより、住宅に被害を受けられました。台風19号によって教団の教会には直接の被害はありませんでしたが、河川の氾濫によって多くの教会員宅が床上・床下浸水の被害を受けられました。増水による孤立、果樹園の被害、停電や断水など、多くの被害が出ております。また、テレビのニュースでも報じられたように、教団の引退牧師方が入居されている埼玉県の川越キングス・ガーデンが水没いたしました。幸い全員が無事に避難され、入居者の方々も近隣のご親族の家などに避難されています。今は水も引き、泥かきなどのボランティア活動がなされています。他

し、「聖潔と宣教」死いのちののパラドックスとのテーマで、午前の聖会と午後の宣教会の2回の集会を持ちました。午前は103名、午後は84名の出席者でした。聖会では第一コリント三章1〜9節より『幼子から大人へ』、また宣教会ではヨハネ二二章20〜26節より『一粒の麦』のメッセージが取り次がれ、一人ひとりのクリスチャンが子どもの状態から脱却し、「大人」として成熟すべきこと、受けた恵みを「一粒の麦」となって世に証しすべきことが真つすぐに語られました。

静岡聖会の報告

聖潔と宣教
死いのちのパラドックス

浜松教会 蔦田直毅

10月14日、超大型台風19号が日本列島を駆け抜けた直後でしたが、恵みによって第18回静岡聖会を、静岡労政会館で予定通り開催することができました。

都内の交通が止まる中、講師の梅田登志枝先生を無事にお迎え

教団では、いくつもの教会に被害が出ており、日本福音同盟(JEA)や諸団体も援助・救済活動を進めています。
災害対策委員会では、支援献金をお願いしています。本部費の送金口座宛に、「災害支援献金」と明記してお送り頂ければ感謝です。また、ボランティア活動や、地域教会へのご支援などについては、JEAのホームページなどをご確認ください。詳細は教会宛にお送りした委員会からの情報レターをご参照ください。

何よりも今大切なのは、皆さまの愛と祈りです。被災地のためにお祈りください。また今後も予想される災害への備えと共に、永遠の備えをさせて頂きましょう。

るよい機会も与えられ、感謝です。教区内の教会は守られています。が、教会員宅や県内の被害を覚えてお祈り頂ければ幸いです。



IWFからのお願い

宣教師を教会にお迎えください

IWF 委員 梅田登志枝

今年もウエスレアンの宣教師やワールド・ゴスペル・ミッション(WGM)の宣教師のご奉仕を頂き、感謝しています。

日本の宣教のために奉仕をしておられる宣教師方を積極的に教会にお招きくださいますようにご案内をいたします。...

経済的に困難がある場合は、イムマヌエル・ウエスレアン連盟(IWF)からの補助制度もあります。...

教会学校課会議の報告

全国のCSのお役に立てるようアイデアを結集ご活用ください

教会学校課 蔦田順子

10月1日に、教会学校課秋の会合を行いました。CS課では、各地から寄せられる要望を検討しながら、可能な範囲で少しでも全国のCSのお役に立てるように、模索を続けています。

現在取り組んでいるプロジェクトは、ぬりえ紙芝居にないエピソードの紙芝居の作製で、すでに2話が完成し、CS課のウェブページ「ふれんず」にアップされています。...

CS課の普段の活動は、ウェブページを通して行っていますのでぜひご活用いただきたく、この度秋の全国教会会に向けて、アピール文書をお届けさせていただきました。...

出版事業部から

定期刊行物の価格改定

ご理解をお願いします

出版事業部 川村和臣

消費税が10%に引き上げられました。出版事業部では消費税導入時から消費税分を出版部の内部努力によって負担してまいりましたが、...

書籍(教会卸分)は本体価格での販売とし、消費税分は出版事業部で負担します。ただし特価販売などは消費税別といたします。

定期刊行物に関して 教報は、現在の100円が改定110円に、つばさは現行200円が改定220円となります。...

リーフ割引制度について リーフは伝道の支援のため千枚単位で500円を割引きます。...

信徒伝道者スクーリング

「牧会」をテーマに 牧会者の心を学ぶ

説教演習と恵みの分かち合いも

富士見台教会 野田 禎



10月8日〜9日に、神学院ベテラルハウスを会場に信徒伝道者のスクーリングが行われました。

今回のテーマは「牧会」で、北田直人先生が講義、そして聖会において、牧会者のマインドについて恵みを語ってくださいました。

おられる場面、弟子たちの場合、④来会から受洗、その後について語られ、後半は実際の面を、詳しく教えていただきました。最後にローレンス・ウッド「ありのままに靈的に」から「誰かとともに時間を過ごすとき、その人を待つてあげることが必要です。だれかを待つとは、その人を自分にとって大切な人として扱っている証拠なのです」が引用されました。...

姫路教会の近況

兼牧教会ですが なお前進しています

国内教会局長 岩上祝仁

インターン生の竹内俊之神学生を迎えることができました。竹内神学生を中心に、教会の営みは継続されています。

前任の津村先生による霊的な建て上げの流れに乗って、教会の歩みはスタートできました。昨年に比べて礼拝出席者も増え感謝しています。雨漏りなどの会堂の問題も主の格別な恵みを受けて、良きクリスチャン建築会社が備えられました。屋根の修理、外壁塗装、会堂内のバリアフリー化などの工事が行われて、内外ともに良くなりました。

この春に津村貴美子先生が引退され、姫路教会は無牧教会として、神戸教会との兼牧になりました。このために皆さまにお祈りをいただきました。5月の連休明けから、神様の不思議な憐れみによってイ

過ぐる10月27日は、堺教会の葛田真理子先生を迎えて特別礼拝とさんびかコンサートを行いました。あとは救いに導かれる方が興され

釧路教会の近況

インターネット中継 いっしょに礼拝を

北日本BA 川嶋直行

礼拝が持たれています。プロジェクトでスクリーンに映し出され、臨場感を保つようになっています。年に数回は、実際に牧師が出向いて、リアルな礼拝と聖餐式を守り、2か月に1度位、釧路市内のプロテスタント教会の礼拝に出席し交わりを持つようになっています。今年も、札幌のポプラ聖会にも参加することができました。

釧路教会が、常駐牧師不在となつて1年半が過ぎました。その間、唯一の男性信徒のご百大があり、4名の女性信徒たちによって、礼拝が守られてきました。毎週、日曜日の午前10時から、深川教会のインターネット中継による

最近、恵庭教会の関係者が、礼拝に参加するようになり、洗礼式に向けて準備を進めています。教会の頭であるキリストご自身が、ご自分のからだである教会を育て給うを見て御名を崇めています。信徒の皆さんが前向きに励んでおられことが何よりも希望です。

るように祈って取り組んでいます。教会員とインターン生が力を合わせながら、主を見上げて進んでいる姫路教会です。お祈りを感謝いたします。



いつも、祈りのネットワークを使ってお祈り頂いておりますことを心から感謝致します。



外国の方々を迎えて

「主の栄光を国々の間で語り告げよ。その奇しいみわざを あらゆる民の間で。」(詩篇九六篇) ◆昨秋のある聖日礼拝に、色鮮やかな民族衣装を身に纏った若く美しい女性が来会しました。日本の他の教会にも出ているらしく、慣れた感じで席についたその手には読み込まれた母国語の聖書があります。服装から推して、「インドの方」だと思えました。どのようにして信仰を持たれたのでしょうか。「あるとき(それがいつであったかは聞きそびれましたが)スウェーデンから宣教師がやって来て伝道した結果、村全体がクリスチャンになって、現在に至っている」と言うのです。その女性はムンバイ(ボンベイ)の大学で修士号を取り、今は某企業の郡山工場でIT技術者として勤務しているとのことでした◆一方、今春のある聖日にはJICA(日本の国際協力機構)から派遣され郡山で短期の研修中というラオスの方がネットの地図を片手に来会し、翌週にはフィジー、ティモール、パプア・ニューギニア、バヌアツの兄弟姉を誘ってきました◆さて5月の連休明けの聖日には約束通り、冒頭の

インドのM姉が、会社企画の息子や娘の職場見学?で来日中の、大妻大学教授だというお母様と共に、手作りのインド料理とサリーのお土産を持って来会しました。その時にはJICAの兄弟も3人揃い、その上たまたま教会前を通りかかった2人のヒンズー教のインドの婦人も1人は息子さんを伴って来られたのですが、なんとその息子さんたちはM姉と同じ職場であることがわかりました◆7月にはジャイカ第二陣(?)のエチオピアとシエラレオネの兄弟が来会しました。毎週ではなかったものの、外国の信仰者がこんなにも来会されたことは、当教会始まって以来のことでした。それぞれの証しを聞きながら、国籍は違っても信仰は同じだとしみじみ思ったものです◆秋風の立つ今、教会に外国の方の姿はありません。しかし別れ際に交わした「祈っています」という言葉は私たちの間にしっかりとどまっています。また、インドのご家族や、名前だけしか知らなかった国の人たちに接して、これまでのイメージが全く変わったことは言うまでもありません。

(久保以津子)

巻頭言

イエスさまのしているもの



世界宣教局 野田 禎

「全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。」(マルコ一六章15節) ザンビアへの宣教訪問団(団長・岩上頼子師)が青年たちを中心に送られ、その恵みが宣教聖日ビデオ



広げた翼

Immanuel His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

http://www.immanuel.or.jp/world/

オに映し出されます。宣教訪問団の報告は王寺教会の田辺大空兄(訪問団に参加された大学生)、全体の編集はJOMAの主事でもある、富士見台教会の大間兄が担ってくれました。今回は、梅田登志枝局長の挨拶、田辺宣恵師(元ケニア宣教師)のメッセージ、宣教訪問団の報告、宣教地各地の報告となっております。宣教聖日ビデオを毎年楽しみに、そしてお祈りしてください。皆様にご祈り感謝申し上げます。

冒頭のみことばは、イエスさまが昇天される前、弟子たちに語られたお言葉です。イエスさまの目には、迫害があっても、福音を伝えている弟子たちの姿、迫害する者のために祈り、やがてパウロのように迫害していた者がクリスチャンになり、福音が伝えられ、広がっていく姿がはつきりと映っていたのでしよう。教会の主はキリストです。聖霊は豊かに働いておられます。そして父なる神さまの栄光が顕されていきます。私たちに必要なのは、イエス様のおられることを私たちが見る事なのではないでしょうか。神さまは私たちに素晴らしいものを見せてくださいます。アブラハムは夜、神さまに天幕を出るように言われ、満天の星を見ます。神さまは「あなたの子孫はこの星のようになる」と仰いました。アブラハムはわくわくするような思いで、全能の神様が仰るのだから、そうなる!と信じました。神さまはアブラハムの信仰を喜ばれ、義と認めてくださいました。そしてその幻を見、堅く信じ続けました。私たちがイエスさまの見ておられるものを共有しましょう。イエスさまを愛し、聖書を愛し、讚美歌に励まされ、人を愛し、いつも喜び、絶えず祈り、全てのことについて感謝し、聖霊に導かれて、地の果てまで福音をと、祈りましょう。(注JOMAとは海外宣教連絡協力会で、イマヌエルも加盟している働きです。)



KENYA

ケニア・テヌウェク

葛田就子*2019年10月8日

スワヒリ語授業は9月9日が最後。一部、会話のテストが入りました。この3か月で十分な「材料」を頂いたことは分かっているのに、即興でとなると単語が出て来なかったりして、もっと復習していれば良かったのに、と情けない、申し訳ない思いをしました。今回はフェーズ1、次のフェーズ2に進むには、数か月間習ったことを実践して自分の中に定着してから、ということでも先生とも一致しました。

翌日から勤務に復帰しました。手術室のスタッフ、他の部門のスタッフからは「おかえり」という表現で暖かく迎えていただきました。もう1人の副主任は産休中、「いやー、なかなか手が回らなくてね」と、主任1人で大変だったろうなあ、と察せられるオフィス状況を見ながら、とりあえずできることから加わりました。最初の2日はややスローペースで、スタッフと給食を食べる時間もとれていましたが、たちまち昼食を摂る時間もないうちに気が付いたら4時、5時、という状況が戻ってきました。麻酔科の必要のため、お祈りを感謝申し上げます。昨年の出国少し前に与えられた4人の麻酔科アシスタントの方々は全員残っていて、大きな助けになっています。また、今まで辞めていった複数の麻酔科スタッフが、アルバイトのような形で必要を埋めてくださっています。病院から麻酔科コースに派遣されていたスタッフも無事修了して再就職、スタッフとしての麻酔科の数も増えていました。昨年出国直前に、ほとんど離職決定と聞かされていた麻酔科の主任が今も続いて勤務していることを知った時は、本当に感謝でした。知識や技術もですが、霊的にも精神的にも安定していて、その面でも大きな柱の兄弟だったので、この人が辞めたいというのはよっぽどのことなのだろうなあと思いますが、その穴は大きいなあ、と、なんとかならないでしょうか、とお祈りしていたことでした。皆様のお祈りを心から感謝申し上げます。

長年無遅刻で、霊的にも大きな柱だった麻酔科のスタッフが引退したことを数年前に書いたと思います。その彼も助っ人として参加しているのを知ったのも、大きな感謝でした。10月からは、テヌウェク史上初めて、麻酔科「医」が勤務すると聞かされ楽しみです。



PHILIPPINES

フィリピン

豊田常喜・恭子*2019年10月8日

「主、主はあわれみ深く、情け深い神。怒るのに遅く、恵みとまことに富み、恵みを千代まで保ち、咎と背きと罪を赦す。」(出エジプト記三四章6、7節)

9月28、29日、学校のプロモーションのために、バン一台と宣教車に教職員と私たちが便乗し、学生たちはバスに乗ってイザベラ教区の諸教会を訪問しました。私たちはイザベラ州の主都イラガン市にあるカラマグイ・セカンド教会に派遣されました。宣教車で片道7時間以上の長旅でしたが、事故もなく往復の旅路は守られました。教会のプロレス先生御夫妻と教会の皆さんが温かく迎えてくださり、恭子は学校紹介、特別讃美、常喜は説教を担当しました。

礼拝後のランチを終え、大戦中に日本軍が地元の人々に掘らせたという洞窟を、私たちは見学に行きました。プロレス先生御夫妻はこの町の観光地でもあるこの洞窟に連れて行くべきがどうか躊躇し



ていたとのことでしたが、私たちの方から行きたいとお願ひしたので安心したと話してくださいました。実は、昨年、この洞窟の見学を計画していたのですが、派遣された教会から離れていたため、その時は断念しました。今回は、願ってもない機会でしたので、行くことにしました。子どもたちも一緒に見学することができました。この洞窟は、戦中に日本軍が地元の人々を酷使して作らせた洞穴で、ゲリラ戦の民兵や反乱者の投獄、拷問、戦利品の貯蔵のために利用されました。悲しい歴史的な出来事(戦争)を乗り越えて私たち、日本人とフィリピン人の友好関係がここまで築き上げられてきたことをもう一度心に刻むことができました。帰り際には、2袋のお米と1袋のバナナの収穫を献げてくださり、宣教車に載せて帰ってくださるということができました。



TAIWAN

台湾

平瀬義樹・光世*2019年10月9日

「ハレルヤ。神の聖所で、神をほめたたえよ。御力の大空で、神をほめたたえよ。」(詩篇一五〇篇1節)

今月も主の恵みとあわれみに支えられての歩みでした。特に今夏は、台風の影響がほとんどなく、日本の大きな被害の報道に心を痛めながら、台湾の諸教会では支援と祈りの手が挙がっています。一連の夏の出入りが終わり、9月を迎えました。依然残暑の厳しい中、9月と言えは、台湾では新学年度・新学期の始まりです。教会の目の前の忠明國小に親に連れられて、毎朝登校する新1年生の姿を見ながら、新学期の空気を感じます。この夏は、ご家庭の不幸でひとりの姉妹が急遽、日本に帰国されました。入れ替わる形で、日本から台中に駐在で赴任されたご一家をお迎えしています。これまでとは違い、日台の人事の動向がより頻繁になり、その滞在の期間も短縮化しつつあります。

9月の初めに、教会のみんなので新しい教会の存在をもっと知って頂くためにどうすればよいかという、活発な意見の交換がもたれました。その第一弾として、DIY教室「ポーセラーツデザインのリジナル・マイカップクラス」を開催しました。プログラムの企画から、案内、講師の手配や諸準備をすべて姉妹方が担われ、器材の関係で少人数精鋭のクラスでしたが、楽しいひと時となりました。このようなプログラムを通して、教会の存在を知り、主にある交わり楽しさを体験し、教会に加わることが起こされるよう祈っています。

9月のある日曜日には、台湾一周旅行の帰路、神戸教会の1兄が立ち寄ってくださいました。我が家の子どもたちにとっては、とにキャンでお世話になった先輩であり、サブライズの再会となりました。余裕のある日程での来台だったこともあり、家族ぐるみの交わりが許されました。最近、日本から台湾への観光旅行だけではなく、学会やシンポジウム、視察出張での来台というケースも増えてきています。そのような機会をとらえて台中教会を訪れてくださる愛兄弟方との交わりが台中教会にも良い感化を与えています。台湾から日本へ出入りした際、自ずと日本の教会の集会に出席するという計画を立てる愛兄弟方が増えてきました。祈りに支えられ、教会はクリスマスに向かっていきます。



ZAMBIA

ザンビア

根廻恵子*2019年9月27日

主の御名を心より賛美します。ザンビアの9月は乾燥と暑さが増す夏の季節ですが、今年の9月は気温は平年通り上がりましたが激しい風が吹き、砂埃がひどく、いくら掃除をしてもすぐホコリまみれになるような状態でした。

9月は日本のIGMから宣教訪問団を迎えました。8月28日に首都ルサカに10名のメンバーを迎えました。初日は首都観光をし、翌日にジェンボへと向かいました。その翌日から始まったジェンボクリニックでの働きは、コンテナ倉庫の物品整理をしていただきました。乱雑に入れられていた物品などを一度すべて取り出し、それから仕分け作業をし、それを整理してコンテナに戻すという大掛かりな作業を黙々としてくださり、奇跡的に1日でこの作業を終えてくださいました。翌日には村の教会へ行き、交わりの時をもち、日曜日はジェンボの教会に出席し、証やさんびの時を持ちました。月曜

日にはリビングストーンへ観光に。そして4日には日本へ帰国という弾丸スケジュールでした。あつという間でしたが、一瞬一瞬に神さまの臨在を感じた恵みの時でした。そしてハードスケジュールの中でも参加者全員の健康が守られたことも感謝でした。ジェンボの人々にとっても多くの恵みを頂いた時となりました。訪問団が倉庫を整理してくださったことでのどのようなものがあるのか知ることができました。その中でゴム手袋が出てきたのですが、訪問団が去ったすぐ後に、必需品のゴム手袋が品切れとなり、整理されて出てきたゴム手袋によってこの難を乗り越えることができました。

クリニックにおいては、9月に1人のスタッフが産休・育休に入り、またあるスタッフは父親の看病で不在が多かったりと、厳しい人材不足があり、忙しい月でした。日本への帰国を前に、通常勤務とともに、申し送りや指導などを行いました。出発直前までクリニックでの働きが続きました。22日の日曜日に教会で挨拶をし、25日の水曜日にクリニックでの挨拶をしました。それぞれのところで私のために祈り、送り出して頂きました。第2期を振り返って、ジンバから始まった第2期、ジェンボで働き始めて2年9か月、多くの祈りによって支えられてきました。神さまがこの場に連れてきてくださり、ともにいてくださった日々を感謝します。



一か月前の今日、訪問団の皆さまは日本を出られるのだなあ、本当に来られて帰られたのだよね、とどこか夢のような感じの中で余韻に浸っているところに、昨年の11月9日に投函された郵便物が届きました。去年のビデオ、今年の訪問団の申込書他、11月の教報でした。船便ですとこういうことがよくありますが、航空便ではこれだけ長くかかったのは2回目です。近ごろ再赴任時(去年の4月)に送った船便が1つ、2つと届いていましたが、1年5か月もかかっています。中には早く着いたものもあるのですが、諦めたころにつくのは驚きとともにうれいものです。なかには使いたい時期を逃すものもありますが。感謝なこと日本から送ってもらっている葉は、大体1か月ぐらいいつも届くので感謝です。守られているなあと感謝しています。背後にあるお祈りに支えられているのだと思います。ありがとうございます。

ます。しかしながら、まだ届いていないものもありますのでお祈り頂けますと感謝です。訪問団の皆さまが帰られた後のザンビアはとても風が強く、暑くなったり急に冷え込んだりと気候が不安定で、例年の様子とはかなり違う感じがいたします。皆さまがおられた時は天候も恵まれていました。今は風が強くて雲が多く、昨日の朝は霧雨が降りました。世界的な気象異常にザンビアも漏れていないと改めて思います。

これから根廻宣教師をお送りした後、10月7日からクリニックでの働きに復帰します。復帰と言うのは、宣教師館の建築は献別式でひとまず終わりましたが、さらにもう一方の建築にも関わり、長く医療現場から離れていました。久しぶりに戻ったクリニックは色々変わっており、新人の気分です。新たに学ばせて頂きながらできることをさせていただきます。

■会計報告9月分

宣教献金 一、〇五六、四三〇円
月平均 一、八三三、三六二円

お祈りの課題

台湾(平瀬)

◆なお暑さが続きます。(日中は30度越え、11月半ば頃まで)健康と生活、出入りのみ守りのために

◆台中教会と台南日本語礼拝を通して、明確な信仰に導かれる人が起こされますように。特に、会堂

を有効利用し、教会の存在を地域の方々に知らせることが出来ますように

◆子どもたちの将来の導きと進路のために。(我が家は2人とも受験生です。明里は大学、勝大は高校)

◆極東アジアの複雑な国際情勢の中、台湾の政治や経済、治安が安定するように。来年総統選挙情勢は、この数か月で激変しています。ケニア(篤田就子)

◆スワヒリ語の学びが守られ勤務復帰がゆるされた感謝

◆様々な必要に心えていくことができるように

◆テヌエク病院の働き人(ルカ一〇・2)特に麻酔科と検査室、整形外科医師の必要が満たされるように

◆香港(鹿島)
◆香港インマヌエル教会の礼拝は新しい場所で行われています。その感謝と香港の教会との交流のため

◆引き続き香港の社会の混乱に、香港の教会が祈りの中で対処できるように

◆牧師たちの出入りと安全、これからの働きの上に導きと与えられるように

ザンビア(根廻)

◆宣教訪問団が恵みのうちに終わることができた感謝

◆ジェンボ・クリニックのため

◆1人で残る富沢宣教師のため

ザンビア(富澤)

◆クリニックでの働きに順応でき

るように

◆クリニック、スタッフが主を意識して奉仕ができ、主に栄光が返してできるように

◆健康が支えられるように

カンボジア(篤田緑乃)

◆KCCの牧者たちの働きに結実が豊かに与えられ、教会が成長するように

◆ヴァンディ師のリーダーシップに天来の膏注ぎと、KCCが真のキリストの教会として霊的・経済的に自立の教会として成長するように

◆今月19日に再度赴任します。滞在期間は健康状態をみて決めます。出来るだけ長期滞在を願っております

フィリピン(豊田)

◆学生たちがサタンからの誘惑、攻撃から守られ訓練と学びに励むことができるように

◆神学教育の働きのため。常喜は2科目(「ダニエル書 黙示録」聖書解釈)を教えています

◆事故、事件、怪我、過ち、災害から家族が守られますように。子どもたちの学びのため

グローバルユースミニストリー(篤田康毅・由理)

◆10月から午前と午後に分かれて持たれている中国語集会和日本語集会のために

◆由理師が個人的に導いているJ姉の霊的成長のために

◆深川教会との協力で始まった中国語と日本語のプログラムの祝福のために

聖宣神学院報



Immanuel Bible Training College

愛を証明すれば、やめちゃえば

院長 ● 河村 従彦

「あなたが神の子なら」

(マタイ四・3)

荒野の誘惑はイエスさまにとつてどういう出来事だったのか。イエスさまの視線で見ると、少し違う風景が広がるように思います。

マタイの福音書三章の最後には、とても意味深いことが書かれています。「これはわたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ」。これは大きな慰め、励ましです。本当に人となられたということですか。その流れで四章です。最初の2つの誘惑に共通していることばがあります。「あなたが神の子なら」

こういうニュアンスだと思います。

神さまが「わたしの愛する子」と

言ってくれたことが本当かどうか、自信がないなら確認してみたらどうか。石をパンに変えれば、自分が神さまに愛されていることを証明できる。飛び降りることはもつと派手やかです。人に認めてもらえる。奉仕者が、何かを「やる」ことで認められたいという誘惑はあります。しかし、神さまから愛されていることを証明する必要はありません。事実そうだからです。

イエスさまは人となつてくださった。無限・全能な方が有限・

無力な人になつたのですから、さぞかし窮屈だったでしょう。ここ

で石をパンに変えれば、人となつたことで引き受けた窮屈さからは解放されます。しかし、あがないのみわざは中断します。

みことばが鍵だったことが書かれてありますが、ポイントも他にもあつたような気がします。それは、「この誘惑はイエスさまにとつて「愛することをやめちゃえば」という意味だったということですが、しかし、他の何をやめても、愛することだけはやめられない、それがイエスさまの素でした。奉仕者が、イエスさまが委ねてくださった方々を愛して行こうとするとき、大変ならやめちゃえば、という誘惑は時としてあります。

「愛されていることを証明すれば」と、「大変なら愛するのをやめちゃえば」、この2つは、奉仕者が自らのありようについて思いめぐらしをする指標になります。



秋の集中講義、関西聖書神学校校長の鎌野直人先生のクラス

神学エッセー

ディボーションと分かち合い

②聴いて、応答する



内山 勝

日々のディボーションの中で、どうしたら、神さまの声を聴くことができるのでしょうか。

■先ず祈りましょう

聖書を開く前に、「主よ。これから拝読するみことばを通して、今日私に必要なことをお語りください。聖霊によらなければ、真理を悟ることができませんから、私を導いてください」と祈ります。

■聖書を3回音読しましょう

いよいよ聖書を開きます。できれば、声に出して読むと良いでしょう。音読と黙読の違いは何でしょうか。読むという点では同じですが、音読すると、自分の耳でみことばを聴くことができます。聴くことを意識して音読してみると、何かが変わります。黙読は、文字を目で追うので、どうしても、自分で観察し、分析するという能動的な方向に進みます。そのように聖書を学ぶ時間も大切なのですが、ディボーションでは、もっぱら受け身になって、神さまの声を聴くことに集中しましょう。

ディボーションは、聖書研究や聖書通読の日課をこなす時間ではありません。

聖書のみことばを通して、今日、私に必要なことを、神さまが直接語りかけてくださるのを全心全霊で聴く時間です。

多くのディボーションガイドは、総じて、一日に読むディボーション箇所は、15節ぐらいに設定しています。音読すれば2、3分でしょう。それを、3回繰り返し試してみよう。

そうすると、特定のことばが心にかかってくる場合があります。そのみことばから、聖霊が教えてくださる事に耳を傾けましょう。これが「黙想」です。①みことばは、主がどんなお方だと教えているでしょう。②みことばは、今日私が取り組むべき課題を示しているでしょう。③みことばは、今日私が警戒すべき事を教えているでしょう。④主の励ましの声が届いて来るでしょうか。そうしたことに心を留めましょう。

■主に応答しましょう

主の語りかけを感謝し、示されたことに対して、具体的に応答し、主の助けを祈り求めます。

「神である主は、私に弟子の舌を与え、疲れた者をことばで励ますことを教え、朝ごとに私を呼び覚まし、私の耳を呼び覚まして、私が弟子として聞くようにされる。」(イザヤ五〇・4)

朝ごとに、主の声を聴き、応答できたら、どうでしょうか。

◆信徒土曜講座に参加して

創造論と進化論

立川教会 竿代丈夫

「キリスト教とは？」とのテーマで河村從彦先生による4回、合計10時間の講義でした。8項目のうち左記の2つが印象的でした。「信仰と科学は両立するか」古くからくり返されてきた疑問です。科学とくに生命科学は近年、驚異的に進展しています。人体の仕組み、あるいは病気の原因の究明および対処方法の進歩。この状況で、「癒しの奇蹟」が介入する分野が狭くなるように見られます。癒しを求める祈りは、はたして、現代どのような意味があるのかと考えさせられました。

「創造論と進化論は異なる次元で語られていることが見失われている」と、テキストに解説されていました。この両者は、創造および進化として、本来、連続的に考えられて初めて成立する理論ではないかと思えます。少なくとも、進化論を語るものにとっては、創造論は不可知な要素が多く、また、今回改めて教えられたことですが、聖書の創造論を正しく理解することとは、宇宙のあるいは人類の根源に関することでありながら、表証

困難な要素が多いために、避けられる傾向があるように思えます。その見地から、創造論のまとめとして述べられた、「全能、完全な神さまが、宇宙を創造した理由」

1 神が譲歩されたこと、すなわち、神がご自分の全能と完全を制御されたこと
2 ご自分の絶対性を放棄してまで愛の交わりを求めておられる。すなわち、聖書は、神が譲歩される歴史であり、その範囲はどこまでかと問われるならば十字架まで譲ることであったとの解説には納得させられ、これからさらに、洞察を深めるようにと導かれました。今後、教会の若いクリスチャンに同様な学びの機会が広く提供されることを願っています。

◆信徒土曜講座に参加して

シニア世代の

恵みの学びの広場

中目黒教会 小林喜久男

牧師の高齢化と若い世代の献身者減少により、連鎖的に引き起こされる教団運営の危機的状況を真摯に受け止め、(信徒伝道者制度を導入した時点で予測可)遅すぎた感はしますが、牧師と信徒協働で打開策を見出さなくてはなりません。「何時やるか? 今でしょ

う!」この危機を克服出来る方策は、発想の転換です。伝統的な考えを放棄し、教会には常住の牧師がいらないのが自然で、牧師がいる教会は例外であると理解し、パウロの教会開拓時代に倣うことです。同時に、パウロの同労者であるプリスキラとアクラに信徒伝道者の模範を見ることです。(教会のみならず、教団本部の実務も全て信徒に任せる時機到来、危機を好機に変える時です。)定年等で退職した信徒は、サンデー毎日となりますので、先ず神の国と神の義を心の中心に据えて、主のみ声にヨナの如き応答はせず、「ここに私がおります。私を遣わしてください。」と、従順に信徒伝道者等にさせて頂き、牧師不足の解消に役立たせましょう。

且つ土曜日は備え日として、学びと思いつらに時間を費やしま



後期の授業が始まりました 後期オリエンテーションのひとつ

す。でも自宅で独習しようとしても、もうその年頃ですから、自然と眠くなってしまいます。ですから信徒土曜講座に出席して、聖書の知識のポリッシュアップをしつつ、聖宣神学院レベルの学びが出来ますから、驚きと楽しさを以て牧師教育の一端を垣間見ることが可能です。脳も活性化しますから、若さの維持と認知症発症予防にも大変有効で、二兎を得ることが出来ます。シニア世代信徒の恵みの学びの広場として、信徒土曜講座に結果しましょう。そして大いに学び、祈り、交わり、霊的に整えられて、教会建設の縁の下を力持ちにならせて頂きましょう。ローマ一二・11。

◆信徒土曜講座に参加して

新しい視点から眺める

荻窪栄光教会 藤村隆太

今回、初めてイムマヌエル教団の「信徒土曜講座」に参加させていただきました。最後の4回目の講座は残念ながら出席できませんでしたが、この講座でいただいた恵みを書かせていただきます。

これまでも「進化論」と「創造論」については、この2つを並べて、相対するものとしての様々な

語りかけを聞いてきました。今回、教えていただいた事は「創造論と進化論を同じレベルの事象の説明として、短絡的に結びつけようとし、創造論と進化論は異なる次元で語られていることが見失われている」ということでした。なるほど! そもそも同じ土俵で考えていたことが違っていたことを知りました。神様は宇宙を「無」から創造され、それは時間、空間も神様が創造されたことであるのに対し、進化論は、時間の中の出来事を説明しているということを知り、納得しました。

また、進化論論争の背景には、科学的な進化論というより「社会的ダーウィズム」イデオロギーとして、自然淘汰を階級闘争や生存闘争の正当化に利用された、というところ、一方教会には、近代科学と世俗化に対する自己防衛や権威の正当化という必要があったという事は新たな視点として考えさせられることでした。

そして聖書から「創造は世界のはじめの根源的創造のみではない」ということも大事な視点として心に止めました。

これまで、進化論を否定することのみに心が向いていたように思いますが、聖書が語る創造に対する理解が不十分であったことを思い知らされた学びでした。

不十分な理解ではありませんが、これからの機会があることにさらに考えを深めていきたいと思えます。

私の神学生時代 良き指導者に導かれて 19期生 ● 竿代 皓子



今から50年前私が神学院3年生の時、別府教会の開拓に遭わされました。小山春子神学生（現高桑春子先生）と一緒でした。教区の諸先生方の強力なお助けの下、1か月の戦いで教会が設立されました。下関から葛田まきば先生の中間転任を得て、本格的な教会がスタート致しました。

当時の院長・葛田二雄先生の御指導の下、神学院生は夏期の開拓伝道に大きな役割が与えられ、果敢な開拓伝道がなされておりました。この別府開拓を境にして開拓戦は国内宣教局に移管されたようです。

伝道に、学びに、霊の修行に、一本筋の通った訓練が肅々となされておりました。「神学院は天使の集まりではないよ」との葛田院長のお言葉が忘れられません。19期生の女子は合計16名で、本当にイモ洗いの状況でしたが、色々と違う人間の集まりと云う環境は、またとない訓練の場所でありました。寮監始め女子のスタッフの先生方が常時6、7人おられ、女子寮は大変な大所帯でありました。

大学卒業後1年の教師生活だけで神学院に入りましたので、何とも適応するのが大変でした。たくさん「なぜ？」との戦いでした。それが解決しましたは、2年生の秋のことです。大学の先輩からのご忠告のお葉書を読んでいる時「なるほどね」とその御注意を素直に受け止めている自分を発見いたしました。その後たくさん「なぜ」が消えていきました。どんなにか葛田院長先生の月曜日の夜の祈祷会が楽しみでありましたか。先生のご都合で中止になったときは本当にがっかり致しました。神のみ前に出るといいう営みを教えて頂きました。祈るといいうことを教えて頂きました。信仰で物事を判断し、建て上げて行くということを教えて頂きました。良き模範となる師に出会えましたこと、心から感謝しています。

卒業を前にしての任命の打診を頂いたとき、先生は仰いました。「君、2年生の秋ごろ変わったね」と。小さなものにも目をとめていてくださったことを知り、うれしかったことを覚えています。霊の世界の事は霊をもって知るといことが分かりました。

50年前に遡りますが、あの当時の神学院での生活は今も生き生きと甦ります。伝道者生活の基盤をしっかりと築いてくださった葛田二雄院長はじめ大勢の諸先生方にごの場をお借りして御礼を申し上げます。

同窓生の近況

46期生

秋田教会 ● 神谷美津子



卒業後、初任地秋田で4年、高知で4年、再び秋田に遭わされ14年目になります。初めての任命を受ける前に、「私でも間に合うところへ遣わしてください。」と真剣に祈る程、不安を感じていた者でしたが、いざ奉仕が始まり、これまでの歩みを振り返ってみると、常に主の備えと恵みが十分でした。7年前に母が病に倒れ、余命幾ばくもない時に、福音を伝え、信仰をもって旅立ったことは私にとって大きな出来事でしたが、それをきっかけに高齢者や病者への重荷が与えられ、祈りつつ、近所にある県内唯一のホスピスでのボランティアの道が開かれ、わずかですが、福音の種をまく機会となつていきます。主人は子ども伝道に重荷が与えられて、小学生の放課後クラブや中学生の学習支援を昨年から行いつつ、近所の子どもたちにイエスさまの愛を伝えていきます。娘は高校1年、息子は中学2年になり、毎年とにキャンへの参加が許され、感謝しています。「この女は、自分にできることをしたのです。」(マルコ一四・8)

神学院スタッフ…恵みの想起

御手の時間の内で

ベテルハウス担当 赤石桂子

ベテルハウス管理人ご任命始動し始めて早や半年が過ぎました。管理人と一緒にキッチン給食当番というプレゼント付きでした。神学生、先生方、スタッフの方と共にご奉仕できる恵みに感謝です。両輪の仕事に手探りの右往左往。時間と共に、母教会のご奉仕とベテルとの時間の調整、特に夏休みの頻繁なベテル使用、時間の流れの調整のお祈りの内に、「この時間、このスケジュールすべて主の御業」と計画の内にある時間である事」主の時間の最極小な歯車の内で働いている事を知らせていただき、こんな素敵な事はなく、主の時間の御手の内に憩わせていた大きながら緑深い学院のご奉仕の恵みに感謝です。裏の夕景・学院の漆黒の森と夜景は絶景です。

●後援会からのお知らせ
・中部ブロック世話人会―北越、中京、静岡の教会の世話人の方に
お集まりいただいて、16日(土)正午から新装なった名古屋教会を会場に行きます。昨年10月には関東ブロック世話人会をベテルハウスで行いました。今後は、世話人のネットワークを地区の皆さまにも拡大して行きます。

学苑だより



サポーターズ

尊いお献げものに心より感謝申し上げます。9月の会計報告をさせていただきます。

9月分支援実状
〔今年度毎月献金目標〕
¥2,000,000

教会員による「神学院サポート献金」
¥676,325

教会団体による「神学院献金」
¥377,035

合計 ¥1,053,360

その他の献金(一時・特別)
¥725,130

・振替：00230-0-10138

公報

本部通達

「見なさい。農夫は大地の貴重な実りを、初めの雨や後の雨が降るまで耐え忍んで待っています。」
(ヤコブ五章7節)

台風19号は各地に大きな被害の爪痕を残し、中止になった聖会もありました。あらゆる苦痛がいやされ、困難の中でも主が与えてくださる恵みがさらに各教会の祝福となっていくように願います。残された2か月の営みの中で、主への期待をもって歩みましょう。

本部

11日(月)～12日(火)
教団運営委員会

(予算書承認・責任役員会)

19日(火) 災害対策委員会

25日(月) 人権委員会

26日(火) 友好教団代表者懇談会

【お願い】

10月21日の教団創立記念日を覚え、各教会では記念礼拝を守り、感謝献金を実施してください。と存じます。本部送金への協力をよろしくお願いいたします。

国内教会局

(会議)

12日(月)

国内教会局・運営委員会

(11月開催の聖会)

◇沖繩聖会

11月3日(日)～4日(月)

講師・朝比奈悦也師
会場・那覇教会
(教区関連)

25日(月)～26日(火)
南九州教区祈り会

世界宣教局

▽今月17日(日)は宣教聖日です。例年のように全国の教会に宣教ビデオと新しい宣教コインシールをお届けいたします。ぜひご活用ください。「宣教コイン献金」にご協力くださると、宣教地の具体的な必要に応える「愛の泉プロジェクト」にもご参加いただけます。

▽根廻恵子宣教師(ザンビア)は10月に帰国しました。11月から2020年3月年会まで巡回します。巡回のお問い合わせは葛田敬子師(神栖教会)まで。

▽葛田緑乃宣教師(カンボジア)は11月19日に短期奉仕に出発いたします。

▽梅田登志枝局長は11月16日～19日まで、移転した台中教会(平瀬義樹師)を訪問し宣教聖日の奉仕をいたします。

(IWF関連)

▽今月19日(火)にはIWF理事会が本部で開催されます。

▽ホリー・ミュールハイゼン宣教師(WGM)は10月13日に日本に再赴任しました。

▽アンドレア・スワウトアウト宣教師(ウエスレアン、グローバルパートナーズ)も手術後、再赴任しました。

教育局

▽YSBトリート2019)

11月3日(日)～4日(月)

会場 B T C ベテルハウス

テーマ よろこび「ねばならない」じゃなくて

講師 葛田敬子師、吉村和記師

聖言神学院

▽後期の教会実習は10月27日(日)開始です。受入れ教会に感謝致します。

石川順兄(東京フリー・メソジスト桜ヶ丘教会)

田中利道兄(中目黒教会)

藤井佳代子師(聖言神学院教会)

▽インターン実習

▲後援会からのお知らせ

「後援会たより」第6号(秋号)

発行人 内山 勝 編集者 寺村秀嗣
発行所 東京都千代田区神田駿河台一

が発行されました。礼拝出席者の皆さまにお送りしています。

・中部ブロック世話人会(北越、中京、静岡) 11月16日(土) 正午、会場は名古屋教会(午前は同会場信徒地区講座を開講)

・各教会の世話人のご登録は今も受け付けています。

▽ベテルハウスに関する問い合わせ・申し込みは学務課 馬場姉まで。

▽ベテルハウスご利用の方は、静かな神学教育環境確保のためご協力ください。①キャンパス内は通行できません。南大側のベテルハウス門からお入りください。②駐車はベテルハウスの駐車場をご利用ください。20台駐車可です。

信徒局

(カナ・フェロシップ)

11月23日(土)

11時～12時半 結婚セミナー

13時～16時半 カナ・フェロシンプライム

対象 40歳以上の独身男性。女性

は年齢制限なし

会場 インマヌエル中目黒教会

(女性部)

◇九州地区女性大会

4日(月・祝) 会場 熊本教会

講師 三森加寿子師

◇関東4教会女性部会会議

11月7日(木) 10時半～12時半

会場 本部

(壮年部)

◇第14回近畿壮年部大会

11月4日(月・祝)

会場 大阪伝法教会

講師 野田禎師、大間哲兄

印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇

〇〇〇ビル イムマヌエル綜合伝道団本部

新生宣教団 定価 一部〇〇円(税込)

郵便振替 001107133609

8844(呉ベタニヤホーム)

教報PDFパスワード 4859

し込み下さい。0823(26)

が発行されました。礼拝出席者の皆さまにお送りしています。

・中部ブロック世話人会(北越、中京、静岡) 11月16日(土) 正午、会場は名古屋教会(午前は同会場信徒地区講座を開講)

・各教会の世話人のご登録は今も受け付けています。

▽ベテルハウスに関する問い合わせ・申し込みは学務課 馬場姉まで。

▽ベテルハウスご利用の方は、静かな神学教育環境確保のためご協力ください。①キャンパス内は通行できません。南大側のベテルハウス門からお入りください。②駐車はベテルハウスの駐車場をご利用ください。20台駐車可です。

信徒局

(カナ・フェロシップ)

11月23日(土)

11時～12時半 結婚セミナー

13時～16時半 カナ・フェロシンプライム

対象 40歳以上の独身男性。女性

は年齢制限なし

会場 インマヌエル中目黒教会

(女性部)

◇九州地区女性大会

4日(月・祝) 会場 熊本教会

講師 三森加寿子師

◇関東4教会女性部会会議

11月7日(木) 10時半～12時半

会場 本部

(壮年部)

◇第14回近畿壮年部大会

11月4日(月・祝)

会場 大阪伝法教会

講師 野田禎師、大間哲兄

印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇

〇〇〇ビル イムマヌエル綜合伝道団本部

新生宣教団 定価 一部〇〇円(税込)

郵便振替 001107133609

8844(呉ベタニヤホーム)

教報PDFパスワード 4859

し込み下さい。0823(26)

消息報告



「10年後の教会を考える」
◇第4回四国壮年部大会
11月4日(月・祝)
会場 松山市済美会館(松山教会)
講師 竿代丈夫兄

▽川越キングスガーデンは台風19号の水害で大きな被害を受けました。入所しておられた大滝昭子師、北田節男師、北田久江師、橋本敦子師、三森春生師はそれぞれ無事に避難されました。主の守りをお祈りいたしました。

▽災害対策委員会では台風被害への支援献金を受け付けています。本部の振替口座に災害支援献金と明記してお送りください。

▽浦和教会(松井元始師)は教団責任役員会の承認を受け、今月旧牧師館を解体し、教会用駐車場として使用されます。

▽厚生委員会、牧師退職に関わる「相談窓口」担当の里村佳子師は、次の日程で、お茶の水が荻窪で面談が可能です。11月22日(金) / 25日(月) / 26日(火)

退職前に、余裕をもって相談されることをお勧めします。介護等のご相談、希望する施設についての説明が可能です。面談を希望される関東圏の先生方は事前にお申し込み下さい。0823(26)

8844(呉ベタニヤホーム)

教報PDFパスワード 4859

し込み下さい。0823(26)

印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇

〇〇〇ビル イムマヌエル綜合伝道団本部

新生宣教団 定価 一部〇〇円(税込)

郵便振替 001107133609

8844(呉ベタニヤホーム)

教報PDFパスワード 4859

し込み下さい。0823(26)